

# 会 議 録

会議の名称	令和5年度 第1回坂戸市社会教育委員会議
開催日時	令和5年7月18日(火) 開会：午後2時00分 閉会：午後3時10分
開催場所	坂戸市入西地域交流センター 会議室B
議長(委員長)	横田 政行
出席者	北原 文子、鈴木 茂、菅原 繁子、市川 なお美、横田 恒雄、 田中 映子、鹿ノ戸 久美子、久保田 美穂、杉田 義昭、 小川 孝、横田 政行 11名出席
欠席者	石橋 妙子、上見 雄一、金丸 行男、加藤 拓 4名欠席
事務局	太田教育長、浅野部長、仲島次長兼スポーツ推進課長、 清水中央公民館長、菅野社会教育課長、神社会教育課課長補佐、 北村社会教育課係長、田畑社会教育課主任 8名出席
会議次第	別紙のとおり
配布資料	別紙のとおり

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
司会(事務局) 教育長	委嘱状交付(鈴木委員、市川委員に交付)
司会(事務局)	1 開 会
委員長	2 あいさつ 委員長を仰せつかり2年目になる。暑い日が続いているが私は今年で71歳となる。去年、70歳を迎えたのを契機に卓球が趣味のため全日本マスターズ大会の県予選会に出場する

教育長

ようになった。去年は決勝で負けて出られなかったが、今年は何としても出てやろうと、現在、専属のプロコーチについて練習を始めたところである。9月に予選会があるので出場した際にはご報告したい。

その中で、年齢別の大会で一番数が多いのが60代、次に多いのが70代である。昔は80代になると予選なしで全国大会に出場できたが、一昨年から80代の予選がなくなり、現在は90代から予選なしで出場できるように変わった。なので、私が90代になったら予選なしで出場できると思っている。皆さんは是非、健康にご留意されて今年も一年間よろしくお願ひしたい。

きわめて暑い中、御出席いただき感謝する。今年度新たに3名の委員の方に委嘱させていただいた。本日1名欠席の方がおられるが、今まで委員を務められた方も含め、どうぞ坂戸市の社会教育の充実のためによりしくお願ひする。

私は不勉強でしたので、原点に戻って社会教育の意義とは何か少し調べてみた。すると、先程、委員長がおっしゃっていたことと通ずるところがあったので、少し読み上げさせていただく。

「社会教育の委員として、地域住民一人ひとりの持つ資質や能力を高め、その力を地域活動に活かす人づくり」

委員長は、中学校で卓球を生徒に教えていただいている。こういった意味でも人づくりをなさっていると思う。

そして「そういう人々の活動が地域の課題解決や地域の活性化につながる地域づくり」

したがって、卓球をしている人たちには地域を通して地域づくりに貢献していただいている。

そして「これらの活動を通して地域住民の間に絆が生まれる。絆づくりという大切な意義がある」と書かれていました。

特に、委員長は中学生に卓球を教えているわけだが、中学生の生徒との絆がものすごく深まっていると伺っている。このように、社会教育はそれぞれの皆さんがそれぞれの立場や所属団体で御努力されていることが人づくりと地域社会づくりに繋がっている。特にコロナでそういった人との関わりが減っていたので、またここで新たに元に戻ってきている所だと思うので、改めてそれぞれの皆さんの立場でどんなことができるか考えていただき、御尽力いただければ。そして、今日は

各委員 事務局	その情報交換、又、様々な交換をしていただき、教育委員会としてどんなことができるか考える会議になればよいと考えている。本日はどうぞよろしくお願いいたします。
事務局	自己紹介
事務局	資料の確認
事務局	<p>3 協議事項</p> <p>(1) 令和5年度入間地区社会教育協議会役員等の選出について</p> <p>(資料に沿って説明)</p> <p>例年、社会教育委員の方に、入間地区社会教育協議会の役員をはじめとした様々な役職として御協力いただいているが、さかど市民塾企画書審査委員及び坂戸市人権教育推進協議会委員として勤められていた社会教育委員さんが御退任されたことから、後任の役職者を決定したく協議事項として御提案させていただいた。</p>
議長	<p>原則、令和4年度から2年任期として委員が決まっていたが、2名の委員がお代わりになったことから、令和5年度に資料のとおり新たに2名の委員にお願いするという案が出ているが御意見がある方はお願いします。</p>
委員	意見なし
議長	それでは、事務局案の通りに今年度はよろしくお願いいたします。
事務局	<p>(2) 令和5年度社会教育関連事業計画について</p> <p>(資料に沿って説明)</p> <p>今年度、新たに社会教育委員の方に坂戸市の社会教育関連事業を知っていただきたく資料を作成した。御質問等あればいただきたい。</p> <p>「職員出前講座」は80講座あり、各地区から要望があった内容について職員が伺い、その内容について説明するものである。</p>

「さかど市民塾」は現在31講座あり、人気のある講座は相続や遺言書について、体操ではヨガが人気である。

「学力のびのび塾」は小学4、5年生を対象とし、前学年の復習をする。元学校教諭や教職を目指す大学生等に協力していただき、勉強をするものである。

「坂戸市人権教育実践報告会」はコロナの関係で、昨年度は資料配布のみとしたが上谷小学校、住吉中学校、入西小学校PTA、城山公民館の4団体に報告をしていただいた。

「坂戸市人権教育推進協議会委員・指導者等研修会」は、人権教育の積極的な推進を図るため年5回計画させていただいている。

「家庭教育学級支援研修会」は令和5年6月23日(金)に実施した。今年は「ゲームと上手に付き合うコツは？」をテーマとした。印象に残ったことは、対人とのゲームでは我慢することができても、画面上でのゲームでは自分が負けそうになると電源を切ってしまう等、我慢できなくなり相手を思いやる心が違うことであった。

「第26回坂戸市埋蔵文化財出土品展」が明日から開催する。入西石塚古墳から出土し、全国初の両面2箇所ずつに円形文様が刻まれた太刀や、埼玉県内では初となる武具のセット等を展示予定としている。

「安全安心(環境浄化)パトロール」は、通年でPTAや各地区会議、青少年育成推進員等が小中学校周辺の公園、店舗等を巡回する。

「こども110番事業」は、登録者の高齢化等の影響で件数が少なくなっている。

「放課後子どもげんき教室」は、コロナの関係で令和2年度から今年度まで中止となっている。来年度に向けて現在準備を進めているところである。

「高齢者大学」は、全ての公民館において、開催回数についてはそれぞれだが通年開催とし、高齢者が活動を通して生きがいのある毎日を過ごすことや地域における仲間作りを支援するため多岐にわたる講座を開催するものである。

「地区市民体育祭」は、コロナの関係で令和2年度から令和4年度まで中止としていたが、今年度は市内9会場で10月1日(日)に実施予定である。

「文化祭」は、日頃公民館で活動している利用団体が、学習の成果を様々な形で発表するイベントとして10月22日、

29日に開催を予定している。

「二十歳のつどい」は、前回から名称を変更して実施しており、二十歳の方を対象に中学校区域ごと市内7会場で式典等を実施するものである。

「第10回坂戸市図書館を使った調べる学習コンクール」は、図書館を使った調査、研究学習の普及と図書館の資料を始め様々な情報を調べる学習を通じて児童、生徒が自ら考え、判断し、表現する力を育むことを目的に実施する。募集期間は9月1日から9月8日までとなる。

「第22回坂戸市民スポーツフェスティバル」と「第1回坂戸市パラスポーツふれあい交流会」については、今年度の事業が終了したので、後ほど報告事項でお話させていただく。

「第22回坂戸市民チャリティマラソン」は、市から委託を受けた坂戸市民チャリティマラソン実行委員会が主体となり11月第3日曜日に5種目25部門を実施する。令和元年度は台風、2年度と3年度についてはコロナの関係で中止したため、昨年度は久しぶりに実施することができた。今年度においては8月15日から9月末まで申込期間を設け参加者を募りたいと考えている。

「学校体育施設開放事業」については、学校施設の有効利用として学校教育の支障のない範囲で体育館等を借用し、学校を活用していただいている。利用団体登録事務を始め、消耗品購入事務、若宮中学校の夜間照明施設の保守管理、修繕、電気料金の支払い等を実施し、利用者が利用しやすい環境づくりに取り組んでいる。

「子ども文化・スポーツ団体健全育成補助事業」は、坂戸市内に拠点を置く文化、スポーツの観点から児童の心身に健全な育成を行う小学生を主な構成員とした団体を対象に、上限2万円を補助し活動していただく事業となる。スポーツ団体はスポーツ推進課で、文化団体については市民生活課で実施している。

「各種スポーツ大会出場費補助事業」は市内在住、在勤、在学の方で埼玉県予選会等を経て関東大会又は全国大会等に出場する選手、監督、コーチ、マネージャーに対して補助を行うものである。

議長	事務局からの説明があったが、委員の中で御感想やこれからの活動についての御意見等があればお願いしたい。
委員	意見なし
議長	<p>結構、沢山の事業が実施されるという印象を受けた。事務局からの説明で御意見がなければこれで以上とする。</p> <p>最後に、委員の皆さんより協議事項として何かあればお願いする。</p>
委員	意見なし
議長	<p>では、以上をもって協議事項は終了する。</p> <p>続いて、報告事項に移る。</p>
事務局	<p>4 報告事項</p> <p>(1) 令和5年度入間地区社会教育協議会表彰について (資料に沿って説明)</p> <p>去る5月31日(金)に国立女性教育会館にて、鹿ノ戸久美子委員がこれまでの御功績をたたえられ表彰された。それでは、鹿ノ戸委員より一言お願いする。</p>
委員	<p>いつの間にか表彰されるような年月が経過してしまった。社会教育委員をさせていただいたことによって地域の皆さんと雑談力という話があった。小学生のお子さんを持つお母さんとお話をしたり、公民館職員とお話をしたり、そういった中で昨年度は社会教育委員会議の中で子ども会の調査をさせていただいたと思うが、子ども会がだんだん減少していく中でこれからの子供達の成長を見守っていく居場所として公民館の役割が大きくなっていると痛感した。</p> <p>地域にある公民館が元気な年寄りための公民館事業ではなく、家庭教育や子どもの居場所になるような環境になっていただくと嬉しい。また、今年の広報7月号に色々まとまって夏休みの公民館事業が掲載されていたがとても見やすかった。</p> <p>他の団体とコラボしたり企業とコラボしたり色々楽しい企画があった。城山公民館では、クールオアシスとして自主勉強の部屋を用意し、そういった取組をされているようなので、なお一層子供たちのために公民館事業が充実していったらよいと思う。またこれからも微力で何の力にもなっていないか</p>

事務局	<p>もしれないが、一生懸命努めたいと思うので本当にこの度はありがとうございました。</p> <p>(2) 令和5年度入間地区社会教育委員研修会等について (資料に沿って説明)</p> <p>研修会等の予定だが、今年度予定されている研修等を記載している。御都合が合えば、委員の皆さんに研修等に御参加いただきたい。具体的な参加については、それぞれ別途御案内する。</p>
事務局	<p>(3) 令和5年度家庭教育支援研修会の結果について (資料に沿って説明)</p> <p>坂戸市家庭教育アドバイザーの会と連携し、PTA役員を対象に、埼玉県教育委員会が立案した家庭教育支援プログラム「親の学習」を体験し、PTA活動における家庭教育学級の重要性を再認識するとともに、参考となる情報の提供によりPTAの家庭教育学級開催の支援を行うことで、坂戸市における家庭教育の推進を図ることを目的としている。</p> <p>今年度は28名の参加をいただき、アンケート結果にもあるようにほとんどの参加者から「参考になった」との御意見を頂戴したことで、概ね予定どおりの成果があったものと考えている。</p> <p>家庭教育アドバイザーの鹿ノ戸委員より補足等があればお願いします。</p>
委員	<p>昨年度も実施し、今年度も事務局の働きかけによって実施することができた。今回のテーマは昨年度の参加者のアンケートに「ゲームとの付き合い方について話を聞きたい」との意見があった。それなら、小中学生のPTA一緒に同じ場所で話ができるので、今回、スマホとゲームの関わり方として「ゲームと上手に付き合うコツは？」というプログラム集を利用して実施した。</p> <p>各家庭でルールを決めるということを言っているわけだが、ルールを決めるということはそれだけ家庭教育にとって深刻である内容だと保護者同士で話し、家でも実践できるようなヒントを得るための「親の学習」をしていけたらと思う。</p> <p>実施してアンケートを取った際、自分の学校でも実施したいという意向はかなりの割合でいただけるが、実際に要望が来ないのが実情。実際に各学校で実施する場合は、保護者が集</p>

事務局	<p>まりやすい内容のものが多くなると考える。</p> <p>役に立つことがあれば一生懸命やりたいので、是非、家庭教育アドバイザーを利用してほしい。</p> <p>(4) 令和5年度学力のびのび塾の実施状況について (資料に沿って説明)</p> <p>小学4、5年生を対象に、前学年のドリルに取り組む。また、学習支援員に地域人材を活用し、児童の学力に合わせてわからない箇所などの指導を行う。</p> <p>今年度は、中央公民館会場及び勝呂公民館会場と入西地域交流センター会場は4年生と5年生を分けて教室を設けたが、その他の会場は部屋の関係上4、5年生合同教室としており、今年度は11会場14教室となる。</p>
事務局	<p>(5) 令和5年度子ども大学にしているまの実施について (資料に沿って説明)</p> <p>地域の大学や市町村等が連携して子どもの知的好奇心を刺激する学びの機会を提供するためのもので、城西大学と明海大学が隔年で事務局を担当している。</p> <p>今年度は7月24日(月)から8月19日(土)の間に全4回の日程で実施し全て対面での開催を予定しており、坂戸市からは21名の応募があり、抽選の結果4年生2名、5年生4名、6年生8名の計14名が参加と報告を受けている。</p>
事務局	<p>(6) 第22回坂戸市民スポーツフェスティバルの結果について (資料に沿って説明)</p> <p>令和5年4月29日(土)昭和の日に実施した。4年ぶりの開催となり当日は晴天にも恵まれ、予定された事業は全て実施することができ、久しぶりに参加者の笑顔があふれる事業となった。</p> <p>参加者数は4,756名に参加していただいた。年々、参加者数は減少しているが、4年ぶりの開催にしては多くの方に参加していただいたと考えている。救護報告としては足のつりや肩掛けバッグによる擦り傷の2件があったが、どれも軽度のものであった。事故報告は0件であった。今年度は新型コロナウイルス感染症対策として、時間短縮の他、会場内での飲食を禁止としたが、来年度以降においては状況に応じて以前の内容に戻して開催できるよう検討していきたい。</p>

事務局	<p>(7) 第1回坂戸市パラスポーツふれあい交流会の結果について (資料に沿って説明)</p> <p>以前は、坂戸市障害者ふれあいスポーツ大会という名称で実施していたが、今年度より障害者と健常者の親睦を深めることにより相互理解の促進を図ることを目的に新しい名称となった。新型コロナの影響で4年ぶりに開催した。</p> <p>6月11日(日)午前9時30分から正午まで実施し、当日は雨が降っていたので車いすでお越しの方について心配していたが、特に混乱もなく開会することができた。</p> <p>参加者のうち12団体が市の障害者団体連絡会の構成団体であり、事前申し込みが41名であった。当日受付された個人の方は37名お合わせて78名の参加者であった。主催者、来賓、役員等合わせると総勢132名で実施することができた。</p> <p>けが人や病人はなく、当日が雨で気温があまり高くなかったことから体調を崩された方がいなかったのではないかと考える。実施種目については、ボッチャ、フライングディスク、サウンドテーブルテニス、シッティングバレーの4種目を実施したが、障害者団体連絡会との打ち合わせの中で参加者全員と何かできる種目はないかとの御意見を頂戴し、最後に全員参加でフォークダンスを踊って非常に盛り上がった。</p> <p>次年度以降も実施するにあたり、種目の選択については障害者団体連絡会との意見を聞きながら検討していきたいと考えている。</p>
事務局	<p>(8) 市民プールの休止について (資料に沿って説明)</p> <p>令和2年度から4年度まで新型コロナウイルス感染症の影響により休止をした。しかし、コロナ禍以前より老朽化が懸案事項であり、毎年多額の修繕料を投じて開設の準備を行っていた。しかし、令和2年度から開設しなかったことにより修繕は行わなかった。そのため、より老朽化が顕著になり開設するには非常に厳しい状況であることから今年度は開設には至らなかった。</p>
事務局	<p>(9) 令和5年度公民館・地域交流センター事業計画書について (資料に沿って説明)</p> <p>公民館8館と入西地域交流センター全体で共催事業を3事</p>

事務局	<p>業、学級、講座事業を98事業、体育協会事業を79事業、合計180事業を予定している。今年度も、安全に安心して参加できる事業を開催し、市民の教養の向上と健康増進に努めていく。</p> <p>(10) 第10回坂戸市図書館を使った調べる学習コンクールについて (資料に沿って説明)</p> <p>図書館の資料をはじめ様々な情報を調べる学習を通じて、児童、生徒が自ら考え、判断し、表現する力を育み、その活動を通して坂戸市の公共、学校図書館での調べ方を体得し、有効に活用する力を養うことを目的としており、今年度10回目を迎える。</p> <p>各小学校で応募者を取りまとめのうえ、図書館へ報告していただく。対象は小学校3年生から6年生まで。グループでの参加も可能とする。なお、図書館を使った調べるコンクールの応援講座を7月22日(土)に開催する。また、城西大学水田記念図書館に御協力いただき、作品完成まで大学生によるワークショップを実施する予定である。</p>
事務局	<p>追加での報告事項</p> <p>(11) 第8回坂戸市長旗関東古希軟式野球大会の結果について</p> <p>70歳以上の方が令和5年7月4日から7月7日の間で野球大会を実施し、坂戸古希野球クラブが念願の初優勝を果たしたので御報告させていただく。これについては、坂戸市民総合運動公園軟式球場を会場に今年で8回目を迎えるが、令和2年度は中止、令和3年度は実施できたが、昨年度は台風の影響により全試合中止となった。</p> <p>今年度は連日の暑さであったが、70歳以上の方々が白熱したプレーを実施した。坂戸市のチームは2回戦からの登場であったが順調に勝ち進み、決勝戦は準決勝から30分休憩をはさんでの実施となった。2試合連続での実施であったが、東京のチームとの対戦で、最初は圧倒していたが途中6対6まで追いつかれた。しかし、最後の力を振り絞って突き放し、8対6で初優勝を飾られた。途中、足がつる方が続出したがマッサージや水分補給をして持ち直し、初優勝することができた。</p> <p>何故、この大会が始まったかという、来年度に20回目を</p>

	<p>迎える関東還暦野球大会があり、還暦を過ぎた方から「次のステージが欲しい」と市長へ要望を行い、市長が還暦野球連盟の会長にお願いをして作ってもらい、来年度9回目を迎える。参加者は本当に70代以上の方なのかと驚く程、はつらつしたプレーを展開されていた。来年度もあるので、是非、お時間のある方は御覧いただければと思う。</p>
議長	<p>以上の件について、質疑等があればお願いしたい。</p>
委員	<p>意見なし</p>
議長	<p>続いて、その他として委員の方から報告事項があればお願いしたい。</p>
委員	<p>意見なし</p>
事務局	<p>5 その他 第2回坂戸市社会教育委員会議の日程について 次回は、10月11日(水)午後2時から坂戸市役所にて予定している。開催通知は別途送付するが、日程についてあらかじめ承知願う。</p>
副委員長	<p>6 閉会</p>